# 令和5年度

# 事業報告書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

社会福祉法人信達福祉会

# 事業報告書 目次

I 経営改善の重点・・・・・・・ 1
Ⅱ 事業計画実施状況・・・・・・・ 1
1 法人全体
(1) 尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上
(2) 職員が育つ組織づくり
(3) 持続可能で未来志向の経営管理
2 法人本部
(1) 法人運営
(2) 経営基盤の強化と財務運営の適正化
(3) 人材の確保と育成、働きやすい職場づくり
3 あつかし荘
(1)特別養護老人ホーム
(2) ショートステイ
4 梁川ホーム
(1)特別養護老人ホーム
(2) ショートステイ
(3) デイサービスセンター
(4) ケアハウス広瀬
(5)梁川ホーム指定居宅介護支援事業所
(6) 伊達市梁川地域包括支援センター
5 川俣ホーム 1 4
(1)特別養護老人ホーム
(2) ショートステイ
(3) デイサービスセンター
<b>Ⅲ 事業報告の附属明細書・・・・・・・・ 19</b>
市町村別・月別利用状況
(1) あつかし荘
(2) 梁川ホーム
(3) 川俣ホーム

「安全・安心・ゆとり」の法人運営理念のもと「尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上」「職員が育つ組織づくり」「持続可能で未来志向の経営管理」に継続的に取り組んだ。

#### I 経営改善の重点

令和3年度に策定した第1次経営改善計画の最終年度として、持続可能な経営をめざし、月次分析を用いて施設の現状と課題を把握し、これらに対する改善策、対応策を実施するPDCAサイクルを強化した。また、あつかし荘では専門職の採用による2つの新たな加算算定による収入確保、梁川ホームではトイレ改修やWi-Fi環境整備による快適な住環境の提供、川俣ホームでは川俣地域包括支援センターと共催で行った認知症カフェや介護相談会の実施によるPRの強化など施設に応じて取り組みを行った。

また、予算編成の段階で収入は過去の実績等を参考に算出した稼働率(設計稼働率)を基に算定しつつ、支出は収入の90%以内とするなど均衡のとれた予算としたことで、これまで以上に収支バランスを意識した事業運営を行い、梁川ホームデイサービス以外すべてのサービス事業所で設計稼働率を上回った。

▼令和5年度設計稼働率と実績値

	特養				ディ	Ί	ディ	ſΠ
	設計	実績	設計	実績	設計	実績	設計	実績
あつかし荘	98. 3	98. 4	73. 7	80. 2				
梁川ホーム	97. 9	98. 1	68. 5	76. 3	80.0	78.8	56.0	51.7
川俣ホーム	97.0	98. 4	74.0	83.8	70.0	82. 5	58.0	62. 9

#### Ⅱ 事業計画実施状況

#### 1 法人全体

#### (1) 尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上

役職別に研修を実施し、高齢者虐待防止に関する知識及び虐待防止の実践力をより高めることができるようにした。加えて、接遇の重要性が虐待防止にもつながることや、昨年度の苦情に接遇マナーが起因している内容があったことなどを踏まえ接遇研修も併せて実施した。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、適切な感染対策を講じたうえで家族と対面での面会ができる機会を増やした。このことにより、家族に直接会うことができる喜びで利用者の気分が高まるなどの好影響をもたすことができた。さらに、サービス担当者会議も対面開催が再開されたことで、利用中の様子をタブレットで確認し、情報共有やケアの意見交換が直接できるようになり、より良いサービス提供につながった。

#### ▼実施状況

項目	令和4年度実績	令和5年度実績
虐待防止·身体拘束適正 化研修関係参加回数	11 回	8 回

苦情受付件数	あつかし荘 1 件 梁川ホーム 2 件 川俣ホーム 1 件	あつかし荘 2件 梁川ホーム 0件 川俣ホーム 0件
挨拶や言葉遣いに対す	あつかし荘 100%/45 件	あつかし荘 100%/49 件
る利用者・家族満足度	梁川ホーム 99%/57 件	梁川ホーム 100%/63 件
満足度/回答件数	川俣ホーム 98%/53 件	川俣ホーム 100%/53 件

#### (2) 職員が育つ組織づくり

ワークライフバランスの充実としての育児・介護休業制度については今年度 10名取得し、さらに2名が産後パパ育休を取得した。また、新たに社会保険 労務士と契約を締結し、人事労務管理の専門家としてアドバイスをもらうとも に、3月には3施設全職員を対象に「職場におけるパワーハラスメント対策」 について講義を行った。

人材育成としては、7月から全6回開催した係長研修をはじめとした役職別研修や役職就任時研修、年間を通じて全8回実施した新人集合研修など研修計画に則り実施できた。

8月に高校生及び保護者を対象に職場見学会を開催し、高校生1名、保護者 2名の参加があった。施設内の見学に加え、新人職員の体験談を聞いてもらっ たことで保護者も介護の仕事のイメージづくりに役立ち、採用につながってい る。

時間外勤務は、昨年度21%増となっている。これは、他業種への転職や家庭の事情などにより退職者が多かったことと、コロナ感染症の影響により職員の休みが重なるなどした際に、勤務変更や夜勤回数が増加したことによるものである。退職者が、令和5年12月以降に集中したが、同時に採用活動をさらに強化し、退職者と同数の人員確保に努めているため、業務の習熟度が高まれば時間外勤務は削減されることを見込んでいる。

#### ▼実施状況

項目	令和4年度実績	令和5年度実績
就職説明会等開催回数 (WEB説明会含む)	9 回	12 回
雇用人数 高年齢者/障害者	6名/0名	8名/0名

#### ▼法人職員研修

日程	研修名(内容)	対象人数
令和5年4月 4日	係長研修 (就任時)	3 名
4月 6日	主任研修(就任時)	6 名
4月 7日	副主任研修(就任時)	5 名
4月11日	課長研修 (就任時)	1名
6月26日	係長研修(職位別)	17 名
7月~12月	リーダー研修(全6回)	18 名
7月24日	主任研修(職位別)	19 名
8月28日	副主任研修 (職位別)	13 名
10月24日	課長研修(職位別)	10 名

#### ▼働きやすい職場づくり

項目	令和4年度実績	令和5年度実績
子の看護休暇取得者数	7名	6名
産後パパ育休取得者数	0 名	2名
介護休暇取得者数	0 名	4名
有給休暇平均取得日数	9.7 日	10.4 日
病気休暇取得者数(内コロナ感染)	80名(内68名)	35 名(内 22 名)
時間外勤務数	6,436 時間	7,810 時間

#### ▼法人全体職員状況

項目	令和4年度	令和5年度	前年度対比
職員数 ※各年度4月1日現在	222名	226 名	+4 名
退職者数(定年退職含む) ※各年度末現在	20 名	31 名	+11 名
採用者数(中途含む) ※各年度末現在	16名	37 名	+21 名

#### ▼施設別

項目	本部	あつかし荘	梁川ホーム	川俣ホーム	計
職員数	6名	53 名	112名	62 名	233 名
平均年齢	52.0歳	50.8歳	50.7歳	50.3歳	50.7歳
男女比率	男性 67% 女性 33%	男性 28% 女性 72%	男性 29% 女性 71%	男性 43% 女性 57%	男性 33% 女性 67%
管理職のうち 女性職員割合	50%	100%	16%	40%	44%

※令和6年3月1日現在

#### ▼新型コロナウイルス感染症の状況

項目	あつかし荘	梁川ホーム	川俣ホーム	ケアハウス
感染者数(入 居利用者)	0名	8名	6名	1名
感染者数(職 員・委託職員)	8名	30名	21 名	3名
営業休止日数 (短期入所)	0 日間	6 日間	0 日間	
営業休止日数 (通所介護)		I 型 0 日間 Ⅱ型 4 日間	0 日間	

#### (3) 持続可能で未来志向の経営管理

令和5年6月に3施設の長期修繕計画が提出された。計画書受領後に、内容を確認し必要な修繕の全体像を把握、8月に施設長期修繕計画書を策定した。 具体的な実行計画は専門家の意見を聞きながら策定することとしており、令和6年度に調査・設計、令和7年度に事業着手としたい。

利用者の快適性や安全性の向上及び、職員の負担の軽減を図るため、センサー内蔵ベッド購入や特殊浴槽整備等を各種補助金・助成金など活用しながら実施した。

#### ▼実施状況

項目	令和4年度実績	令和5年度実績
ICT・介護ロボット導入 機器	介護記録用タブレット 34 台 見守り支援システム	センサー内蔵ベッド 26 台 Wi-Fi 環境整備 特殊浴槽整備
補助金、助成金活用件数	16 件	12 件

#### 2 法人本部

### (1) 法人運営

6月1日、第1回理事会にて給与規程、臨時雇用職員管理規程の一部改正及び令和4年度事業報告、決算報告を行った。6月16日の第2回理事会においては、理事長及び常務理事の選任を行った。また、9月12日の第3回理事会開催後に、「今後の施設運営について」と題して4年ぶりとなる役員研修会を実施した。

### ▼理事会

口	日程	議案、評議員・理事・監事出席状況
1	令和5年 6月1日	給与規程の一部改正、臨時雇用管理規程の一部改正、令和4年 度事業報告、令和4年度決算報告、本部、あつかし荘の補正予 算、理事・監事の選任、理事・監事の報酬等、定時評議員会の 招集 等 理事 出席7名/欠席1名 監事 出席2名/欠席なし
2	6月16日	理事長の選定、常務理事の選定 等 理事 出席6名/欠席2名 監事 出席2名/欠席なし
3	9月12日	本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川 地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算、川俣ホーム特 殊浴槽購入契約、評議員会の招集 等 理事 出席8名/欠席なし 監事 出席2名/欠席なし
4	12月12日	特別養護老人ホームあつかし荘運営規程等の一部改正、本部、 あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包 括支援センター、川俣ホームの補正予算、評議員会の招集 等 理事 出席8名/欠席なし 監事 出席2名/欠席なし
5	令和6年 1月25日	給食業務委託契約の解除、調理済食材購入契約 等 理事 出席6名/欠席2名 監事 出席1名/欠席1名
6	3月12日	総与規程の一部改正、臨時雇用職員管理規程の一部改正、特別 養護老人ホームあつかし荘運営規程等の一部改正、補正予算、 令和5年度事業計画、あつかし荘拠点区分備品等購入積立金及 び備品等購入資産の目的外取り崩し、理事・監事の報酬等、当 初予算、役員賠償責任保険の締結、評議員会の招集 施設長の 任命 等 理事 出席8名/欠席なし 監事 出席2名/欠席なし

第3回のみJAふくしま未来みらいホール保原

### ▼評議員会

口	日程	議案、評議員・理事・監事出席状況
1	令和 5 年 6 月 16 日 〔定時評議員会〕	総与規程の一部改正、令和4年度事業報告、令和4年度決算報告、本部、あつかし荘の補正予算、理事・監事の選任、理事・ 監事の報酬等 等 評議員 出席8名/欠席2名 監事 出席2名 出席理事 2名

2	9月21日	本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川 地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算 等 評議員 出席6名/欠席3名 出席理事 2名
3	12月20日	特別養護老人ホームあつかし荘運営規程等の一部改正、本部、 あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包 括支援センター、川俣ホームの補正予算 等 評議員 出席7名/欠席2名 出席理事 2名
4	令和6年 3月21日	給与規程の一部改正、特別養護老人ホームあつかし荘運営規程等の一部改正、本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算、令和6年度事業計画、理事・監事の報酬等、当初予算等評議員出席5名/欠席4名出席理事2名

#### ▼監事会

口	日程	監査項目、理事・監事出席状況
1	令和5年 5月16日	本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川 地域包括支援センター、川俣ホームの事業報告及び決算計算書 類案の監査 監事 出席2名/欠席なし 出席理事2名

#### ▼外部会議・研修セミナーへの出席

日程	研修名	出席者
令和5年 7月21日	令和5年度福島県経営協 セミナー(前期)	常務理事
9月12日	社会福祉法人信達福祉会 役員研修会	理事8名、監事2名
令和6年 2月21日	令和5年度福島県経営協 セミナー(後期)	理事長

### (2) 経営基盤の強化と財務運営の適正化

新たなICTの活用として、6月より給与明細のペーパーレスを開始した。 さらに、すでに導入している介護記録タブレットも記録の手間が大幅に削減し、 業務の効率化を図ることができている。今後も評価及び改善を行いつつ、職員 へ適切な教育と説明を行うことでICTツールの活用を図りたい。

給食業務委託業者からの撤退申し出により、1月にクックチル方式の調理済食材購入業者選定を行い、令和6年4月より委託方式から直営方式へと変更することとした。このクックチル方式の採用により厨房業務は加熱及び盛付のみとなるため、作業時間や人員も削減できる見込みとなっている。しかし、今後の生産年齢人口の減少に伴う人手不足を加味すれば、機械化や自動化が可能な部分については今後も積極的導入を進めていくこととしたい。

#### ▼令和5年度目標稼働率と実績値

	特	K	短		ディ	ſΙ	ディ	ſΠ
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
あつかし荘	99. 2	98. 4	80.0	80. 2				
梁川ホーム	98. 5	98. 1	70.0	76. 3	85.0	78.8	63.0	51.7
川俣ホーム	98. 5	98.4	85.0	83.8	83.0	82. 5	69.0	62. 9

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
月次報告分析の活 用による収入確保		目標稼働率の達成	短期:あつかし荘 梁川

対策の提案			10事業所中2事業所 達成
施設整備計画に基づく施設の長寿命 化計画及び資金積 立計画の作成	_	施設長寿命化及び 資金積立計画の作 成	施設長期修繕計画 の策定 実施計画未策定
ICT の導入による 事務処理業務の迅 速化	_	システム導入によ り時間外 20%削減	給与明細のペーパ ーレス化 時間外 21%増
一括契約件数を増 やすことによる経 費の節減	一括契約数 5件	一括契約数 15 件	一括契約数 11 件 (経費約 15%減)

### (3) 人材の確保と育成、働きやすい職場づくり

本部機能強化のひとつとして採用事務の統一を図り、職員定数及び定期的に 実施する意向調査を参考に採用活動を行い、今年度は37名を採用した。また、 県社会福祉協議会による広報支援事業を活用した介護助手募集の折り込み広告 を配布した。問い合わせは2件ではあったが、今後もひとつの採用のかたちと 捉え継続的に実施していきたい。

さらに、だて支援学校の現場実習や県北障害者就業・生活支援センターが県の委託事業として行う職場実習などを受け入れ、障害のある方を正しく理解する機会の確保に努め、実習生1名の採用に至っている。

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
計画的な採用事務の 実施	職員定数管理の実 施(介護)	職員定数管理(全職 種)と年間採用活動 計画に基づく人材 の確保	職員定数に基づく 採用活動の推進
多様な働き方ができ る仕組みの構築	_	介護助手制度の構 築	介護助手制度の構 築
人材育成の推進	職位別継続(課長) 研修の実施	職位別研修の充実 と研修効果の見え る化	係長対象の継続研修の実施 復命書様式の変更
ICT や介護ロボット の活用による業務効 率化の推進	ICT 導入プロジェク ト	見守り支援システ ム導入 (夜勤時などの業 務負担軽減)	見守り支援システ ム導入(あつかし 荘)

#### 3 あつかし荘

#### (1) 特別養護老人ホーム

#### ▼運営状況

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 99.2%]	98.3%	98.4%	+0.1%
延べ利用者数	22, 203 人	22, 335 人	+132 人
平均要介護度	4. 11	4. 10	-0.01
平均年齢	87.4歳	87.7歳	+0.3歳
平均空床期間	12.8 目	9.8 日	-3 目

#### ① 介護係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
レクリエーション の実施	1.9 回/週	3 回/週	3.2回/週
認知症介護の知識 習得	マニュアルの学習、 県認知症介護研修 受講(3名)	マニュアルの学習、 県認知症介護研修 受講 (3名)	マニュアルの学習、 県認知症介護研修 受講 (3名)
介護技術講習の開 催	職員個別OJT(随時)	全職員研修2回 入職5年以內職員 対象技術指導(随 時)	全職員研修2回 入職5年以内職員 対象技術指導(随 時)

見守り支援システムの活用により、職員が利用者の歩行介助を行いながら、 居室内の利用者の様子も確認できるようになった他、生み出された時間で目標 とする週3回のレクリエーションを実施し、身体を動かす機会や楽しむ時間を 増やすことで生活の質の向上を図ることができた。入職5年以内の職員5人に 入浴介助に係るOJTを実施し、技術向上を図ることができた。

#### ② 看護係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
看取り介護における利用者・家族の意向の把握	ACPの体制づく り	ACPの活用	A C P の活用 (個々 の人生ノートの完 成と活用)
感染症予防対策の 強化(マニュアルの 見直し)	感染症発症時にお けるBCP策定	感染症別マニュア ルの見直し	感染症早見表の作 成
感染症研修及び訓 練	研修 2 回・訓練 3 回	研修 2 回・訓練 1 回(PPE着脱)	研修2回・訓練2 回(手洗い消毒・P PE着脱)

ACP (人生会議) の1つのツールとしての全利用者の人生ノートを完成させ、本人・家族の思いを多職種で共有し、看取り介護に結び付けられるよう定期的に見直しを行い、カンファレンスでの活用も開始している。手洗い消毒や、PPE着脱の研修・訓練を行い、コロナなどの感染症だけではなく、9月に発生した疥癬にも対応することができた。

※ACP (人生会議) …アドバンス・ケア・プランニングと言い、将来の変化に備えて希望する医療やケアについて本人を中心として家族や医療・介護関係者などのチームで話し合っておくものとされます。話し合いは一度決めたら終わりというものではなく、考えが変わっていくことも保証しながら繰り返し行うものとなります。

※人生ノート…日々の特養での暮らし(介護)や医療に関する本人の意向を定期的に把握・ 記録し多職種で共有できるようにするためのツールです。本人が大切にしていること、 どこでどんな最期を迎えたいかなどを入所時に記入してもらい、定期的に確認し合いな がら、その人らしい最期を迎えられるよう支援します。

#### ③ 生活相談係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
入所までの空床期 間(全体平均)	12.2 日	10 日未満	9.8 日
相談援助・苦情対応スキルの向上	外部研修派遣(相談 援助面接1名、施設 ケアマネ1名)係内 研修	係打合せ(毎月1 回)時に事例検討・ 内部研修	係打合せ時等に内 部研修4回

待機者の面接を早期に行い、上位待機者の確保に努めた。入院者の入院期間が 1 か月以上となり目標稼働率には届かなかったが、入所の際はご家族やケアマネジャーとの連絡を密にし、退所から入所までの空床期間を昨年度より短縮することができた。

相談援助等スキルの向上では、ご家族への対応について係内で情報を共有して電話や来園時に報告をする際は、わかりやすい言葉を使うことや、丁寧な説明を心がけた。

#### ④ 栄養管理係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
残菜量(1日平均)	8.6 kg	7 kg以下	6. 2 kg
低栄養リスク者割 合	15%	10%以下	11%

多職種でのミールラウンドの他、厨房栄養士によるミールラウンドと日々の 残菜調査により、メニューの変更や利用者の好む献立に変更するなどし、残菜 量は減少した。栄養ケアマネジメント会議にて、現在の利用者の状態に応じた 食事の提供を行うことで、低栄養リスク者の割合が減少した。

#### ⑤ 総務管理係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
設備機器等更新・I CT導入状況	タブレット 4 台追 加 ナースコール入替 (見守り機能・イン カム)	ボイラー入替 見守りセンサー内 蔵ベッド導入	ボイラー入替 見守りセンサー内 蔵ベッド導入
B C P の策定及び 訓練	BCPに基づく訓 練1回	B C P に基づく訓 練 2 回 研修 1 回	B C P に基づく訓 練 2 回 研修 1 回
職員の心身ストレ スの軽減	連続休暇の取得率 100% インカム・見守り支 援システム導入	連続休暇取得率 100% ICT機器の活用	連続休暇取得率 100% ICT機器の活用 による業務負担の 軽減

ボイラー更新及び見守りセンサー内蔵ベッド11台を導入したことにより、 利用者の快適性と安全面の向上を図ることができた。災害時のBCP(事業継続計画)を策定し、自然災害発生を想定したBCP訓練を実施した。見守り支 援システム導入後、訪室せずに居室内の利用者の様子を確認することができる ことから、介護職員の心身の負担が軽減した。介護職員向けのアンケート結果 でも裏付けされた。

#### (2) ショートステイ

#### ▼運営状況

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 80.0%】	75.6%	80.2%	+4.6%
一日平均利用者数	7.6人	8.0人	+0.4人
平均要介護度	2. 93	3. 25	+0.32
一人あたり平均利用日数/ 月	10.8 目	12.5 日	+1.7 目
新規利用者数	26 人	20 人	-6 人

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
利用実人数(月平均)	21.2人	23 人	25 人
満足度調査の実施	家族1回 居宅事業所1回	家族1回 居宅事業所(調査1 回、聞き取り随時)	家族1回 居宅事業所(調査1 回、聞き取り随時)
ケアマネへの空床 情報・サービス内容 についての情報配 付	月 2~3 回	月3回	月 2~3 回

ケアマネジャーに対する空床情報を月2~3回更新したほか、利用中の様子を電話や写真等でお知らせするなど情報提供に努め、利用者や家族の状況に応じた柔軟なサービスや、ケアの提供を行った。また、新規利用者が20人と昨年度より減少したが、特養入所や死亡などによる利用廃止は年間17人で、新規利用がやや上回った。一人暮らしや、認知症状の進行に伴い家族の介護が難しくなっている利用者の、一人あたりの利用日数が増え、稼働率増加につながった。

#### 4 梁川ホーム

#### (1) 特別養護老人ホーム

#### ▼運営状況

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 98.5%】	97.0%	98.1%	+1.1%
延べ利用者数	28,305 人	28, 724	+419 人
平均要介護度	4. 1	4.0	-0.1
平均年齢	89.7歳	90.4歳	+0.7歳
平均空床期間	15.0 日	12.3 日	-2.7 目

#### ① 介護係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
特養内事故件数	52 件	10%減(47件)	45 件

計画的なレクリエ	全体 月2回	全体 月1回	全体 月1回
ーションの実施		通り 週1回	通り 個別に随時
研修による資質向	外部研修 23 件	外部研修 25 件	外部研修 17 件
上(年間件数)	内部技術研修 1 回	内部技術研修 4 回	内部技術研修 1 回

安全な介護を目指して事故件数の減少に取り組み、目標である10%削減を達成することができた。しかし骨折事故は起きていたため、次年度課題となっている。レクリエーションは新型コロナウイルスの5類移行を踏まえた計画作成と実施に努め、月ごとの行事を感染対策のもと施設全体で行えた。しかしグループごとのレクリエーションは計画通りの実施が難しく、利用者個別に随時行った。

#### ② 看護係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
感染者数(コロナ感   染以外)	0名	0名	0名
コロナ感染者数	18名	<del>-</del>	8名
入院者数(急変な ど)	9名	0名	14名

8月に新型コロナウイルス感染症が発生したが、蔓延防止に努めて発症した グループ内での終息を図ることができた。その他の感染症については利用者の 感染はなかった。8月に協力病院の変更があったが、健康状態の報告など情報 共有をしっかり行い、必要な対応を適時適切に行った。入院者は心不全や胆嚢 炎、腸閉そくなど治療を要したことから、家族希望と主治医指示に基づき適切 に対処した結果、例年よりも入院者が多かった。

#### ③ 生活相談係

#### ▼事業目標の実施状況

	目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
	入所までの空床期 間	平均 16.7 日	平均 10 日以内	平均 12.3 日
Ī	相談援助苦情対応 力の向上	外部研修参加2回	外部研修参加 2 回 内部研修隔月実施	外部研修参加 6 回 内部研修 6 回

入所28件、退所26件、入院のべ279日となり、稼働率は98.1%と 当初目標には届かなったが前年度よりは1.1%改善できた。入所にかかる日 数は退所が一時期に重なったことや医師の紹介状の手配に時間を要したことで、 平均10日以内の目標に達することができなかった。また、苦情はなかったが 新人相談員を苦情対応研修などに派遣し、内部では外部研修の伝達研修を行い スキルアップを図った。

#### ④ 栄養管理係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
ミールラウンドの 強化	週1回	週 3 回	週3回
誤嚥性肺炎の発症 者	0名	0名	1名

ミールラウンドにより個別の食事状況を観察することで、介護度の高い方の体重減少について身体疾患や認知症の影響もしくは老衰によるものであることを把握した。それを栄養ケアカンファレンスや看取り介護などで個別対応に活かし、利用者の体調管理に役立てることができた。誤嚥性肺炎は目標のゼロとはならなかったが、新規入所者やリスクの高い方に対して安全な食事姿勢となるように機能訓練指導員と摂食時の評価を行った。

#### ⑤ 機能訓練

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
リハビリ対応人数	平均 54.5 人	平均 58 人	平均 53.7 人
褥瘡の発生	5 件	0 件	0件
骨折事故の発生	3 件	0 件	4 件

集団リハビリでは動画を活用することで様々な種類の運動を行い利用者が楽しみながら行うことができていた。個別リハビリでは本人と家族の意向をふまえて実施し身体状態の維持に努めた。褥瘡は皮膚の発赤や皮むけの段階で早期対応し発症者を一人も出すことなく予防できている。骨折事故が4件発生し、原因が特定できないものと自分で歩いて転倒したものとがあったため、一人ひとりの危険予知をした安全に動ける環境づくりと介護用品の選定、怪我に注意した介助方法に努めていくこととする。

#### ⑥ 総務管理係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
時間外勤務の削減	338 時間/月(前年 度実績比 13.3% 減)	217 時間/月(前年 度実績比 35.7% 減)	350 時間/月(前年 度実績比 3.5%増)
施設設備の整備	エアコン(デイⅡ型)更新工事、多床 室簡易個室化工事、 タブレット等の購入	共用トイレ改修工 事、温水洗浄便座等 の設置	Wi-Fi 環境整備工 事、非常照明バッテ リー交換工事、非常 放送設備更新工事、 共用トイレ改修工 事

時間外勤務の削減については、隙間時間の活用や細かな業務をひとまとめにする等の業務見直しに取り組んだものの、職員の病休や退職等により前年度実績比3.5%増となった。施設設備の整備については、Wi-Fi環境整備、非常照明バッテリー交換、非常放送設備更新、共用トイレ改修等を実施し、利用

者の生活環境の改善・向上、及び職員の業務効率化と負担軽減を図ることができた。

#### (2) ショートステイ

#### ▼運営状況

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 70.0%】	66. 7%	76.3%	+9.6%
一日平均利用者数	13.3 人	15.3 人	+2 人
平均要介護度	2.7	2.7	$\pm 0$
一人あたり平均利用日数 /月	8.4 日	8.8 目	+0.4 目
新規利用者数	64 人	43 人	-21 人

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
利用実人数	48 人	45 人	49 人
認知症予防アクテ ィビティ	月1回	月~金に実施	週3回の実施
空き情報の発信	月1回	月2回	月1回

ケアマネジャーから日程の延長や長期利用の要望があった時は、柔軟に要望に応じるよう努めた。新規利用者数の減少はあったが一人当たりの平均利用日数は増え、稼働率増加につながった。

居室の簡易個室化、トイレ改修を行った事を広くお知らせし、改修前に比べて気兼ねなく過ごせる環境になった。特に要支援の方の利用者数が延べ112 名増加し稼働率増加の要因の一つとなった。

#### (3) デイサービスセンター

#### ▼運営状況【Ⅰ型(一般型)】

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比		
稼働率【目標稼働 85.0%】	76.4%	78.8%	+2.4%		
延べ利用者数	5,932 人	6,065 人	+133 人		
平均要介護度	2. 3	2. 5	+0.2		
新規利用者数	38 人	21 人	-17 人		

### ▼運営状況【Ⅱ型(認知症対応型)】

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 63.0%】	55%	51.7%	-3.3%
延べ利用者数	2,042 人	1,917 人	-125 人
平均要介護度	2. 4	2.8	+0.4
新規利用者数	15 人	12 人	-3 人

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
外部研修参加、内部 研修開催	2回/年	6 回/年	4回/年
新アクティビティ 新介護予防体操の 実施	月1種類	月1種類	月1種類

利用実人数	I 型 84 人	I 型 85 人	I 型 85 人
	II 型 23 人	II 型 27 人	II 型 22 人

I型については季節の行事、認知症の進行を予防する運動や下肢筋力向上を目的とした運動を積極的にとりいれた。アンケート等で利用時の様子が分かりにくいという声もあり、毎月のデイサービス便りでは行事や利用時の様子がわかる内容を意識しながら作成、配布した。利用時の様子を情報発信することが稼働率アップの要因の一つとなった。

Ⅱ型についてはショートステイ利用者の増加により稼働率の低下となったが、 毎週新しいレクリエーションを提供し、その内容をデイサービス便りにて家族、 居宅介護支援事業所へ分かりやすく情報発信する事ができた。その結果として、 年度末となり3月の延べ利用者数は2月に比べ30名増加した。

#### (4) ケアハウス広瀬

#### ▼運営状況

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 90.0%】	87.4%	87.4%	$\pm 0\%$
月初日平均入居者数(定 員 30 人)	26.2 人	26.2 人	±0人
平均要介護度	1.9	1.8	-0.1
入院者数	2 人	4 人	+2 人
平均年齢	89.2歳	89.1歳	-0.1歳
入居者男女比率	男性 22% 女性 78%	男性 26% 女性 74%	男性+4% 女性-4%

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
健康体操の充実	週6回(月1回内容	週6回(月1回内容	週6回(月1回内容
健康性療の元夫	を更新)	を更新)	を更新)
	集合形式の行事 5	集合形式の行事 5	集合形式の行事 5
毎月の行事の充実	割	割、内容をホームペ	割、内容をホームペ
	<u>=1</u>	ージに掲載	ージに掲載

前年度にはコロナウイルスによって計画できなかったドライブを行うことができた。施設内での行事も毎月行い、コロナウイルス発生前の生活に近づけながら、楽しみを持って過ごしていただくことを意識し取り組んだ。また、体調管理に努めることでコロナウイルス感染を予防し、入院が必要になった方に対しては医療機関と連携を取りながらスムーズな対応ができた。

### (5) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

#### ▼運営状況

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比
居宅サービス相談件数	1,809件	1,794件	-15 件
居宅サービス計画作成件 数	1,627件	1,678件	+51 件
要介護認定調査件数	46 件	50 件	+4 件

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
請求件数	135 件/月	155 件/月	139 件/月
職員数	4 人	5 人	4 人
サービス内容の確認・振り返り	4回/月	4回/月	4回/月
地域活動への参加	コロナで中止	1回/月	1回/月

利用者の心身状況や環境に応じて介護保険サービスを利用できるよう、医療機関、他事業所との連携を図り支援を行った。事業所内での会議では事例検討を出し合う事でスキルアップや情報共有に努めた。ターミナル期の利用者に対しては医療機関及びサービス事業所と連携し在宅生活を支援した。様々な取り組みにより、職員一人当たりの目標実績数を達成する事ができた。

### (6) 伊達市梁川地域包括支援センター

#### ▼運営状況

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比
相談延べ件数	4,080件	3,534件	-546 件
訪問件数	709 件	1,293件	+584 件
介護予防サービス作成件 数	2, 258 件	2,282件	+24 件
地域講座開催件数	3 件	4件	+1件

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
相談実績	188 件/月	195 件/月	190 件/月
認知症カフェ開催	1回/年	4回/年	4 回/年
地域ケア会議	_	1回/年	13 回/年
介護保険や認知症 の理解促進、普及活 動	普及啓発2件 出前講座2件	出前講座、認知症サポーター養成講座の開催、地域活動の協力	普及啓発 12 件 出前講座 4 件

総合相談窓口として、その役割を多くの方に知っていただくために情報の発信を行った。ヤングケアラーなど相談内容や状況に応じて医療機関や行政とも連携を図り、スムーズに必要なサービスが受けられるよう努めた。また、独居高齢者宅の訪問に力を入れ、体調の確認を随時行うことで変化に気づき注意喚起を行う事ができた。

#### 5 川俣ホーム

#### (1) 特別養護老人ホーム

#### ▼運営状況

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 98.5%】	96.9%	98.4%	+1.5%
延べ利用者数	23,350 人	23,779 人	+429 人
平均要介護度	4.06	4. 24	+0.18
平均年齢	89.6歳	89.8歳	+0.2歳
平均空床期間	9.7 日	5.1 目	一4.6 日

#### ① 介護係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
季節を感じるレク リエーション・行事 の実施	不定期に実施	1 回/月	1~2 回/月
口腔ケアの定期的 な勉強会の実施	2回/年	2回/年	2 回/年
満足度調査結果	満足 96.2%	満足 97.0%以上	満足 97.3%

日常の感染症対策を継続しつつ利用者の楽しみとなる活動を徐々に増やし、地域の文化祭観覧など外出行事も実施した。

利用者全体としてマスク着用による発語の減少、表情の硬さなども課題であり、歯科医師と連携を図り日常的ケアによる表情緩和と勉強会を開催した。そのことにより利用者の口腔内観察の重要性を再認識するとともに、食前体操や災害時におけるケア方法も職員全体として学ぶことができた。

#### ② 看護係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
感染症によるクラ   スター発生件数	1件	0 件	3 件
感染症 B C P 訓練	2 回/年	3 回/年	3 回/年

利用者の健康状態の把握に努め、定期健康診断の実施、協力病院との連携維持に努めた。今年度は病院からのアンケートもあり受診対応方法を共通認識することができた。また入院された後に利用者家族の意向で、施設での看取り介護を選択されるケースも増え、穏やかな最期の迎え方について共に考える時間を深めることができた。

感染症ではコロナが5類移行後も基本対策を継続実行、発症ゼロを目指したが小規模クラスターが数回発生した。職員一人ひとりの認識や予防措置の大切さを周知し、感染症BCPに基づき速やかな対応が全職員実行可能となるよう次年度取り組んでいきたい。

#### ③ 生活相談係

#### ▼事業目標の実施状況

	• • •		
目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
入所までの空床期 間	平均 9.7 日	平均9日以内	平均 5.1 日
相談援助・苦情対応 スキルの向上	外部研修参加 1名	外部研修参加 1名 係内研修実施 隔月	外部研修参加 1名 係内研修実施 隔月

入所までの空床期間については上位待機者の実態調査を適宜実施し、速やかに入所可能な方を常時複数名確保することに努め、前年より短縮できた。

相談援助および苦情対応スキル向上を係内目標に取組み、情報共有に努めた。

近年では身元引受人が遠方または直系家族でない方も増え、援助技術の向上は 不可欠となっている。またカスタマーハラスメントなど最近社会で増えている 事案について施設全体へ伝達研修を行なった。

そのほかコロナ感染症流行以降自粛してきた家族会活動も再開し、施設内環境整備や入所者家族同士の親睦も深めることができた。

#### ④ 機能訓練

### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
多職種で利用者への介助方法を共有	不定期に実施	1 回/月	1 回/月
個別機能訓練実施 の様子を計画書送 付時に添付	-	1 回/年	1 回/年 (26 名)

利用者の疾患や身体状況に応じた適切な介助法、福祉用具の選定・居室環境整備を多職種と共有するため写真データなど視覚的アプローチによる理解促進に努め、個別リハビリ計画実行や見直しを適宜行なうことができた。

また個別機能訓練実施の様子を写真撮影し、コメントを付けて家族へ送付し 現在の身体機能状況を伝えるように努めた。

### ⑤ 栄養管理係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
経口維持計画書作 成	51% (34人)	70% (45 人)	62% (41 人)
食に関する行事・イベントの実施	2 回/年	5 回/年	5 回/年
嗜好調査による満 足度	満足 80.0%	満足 85.0%以上	満足 量・味 93% 温 度 63% 選択食 80%

料理レクリエーションなど食に関する行事を複数回開催し、季節にちなんだ食材を利用者自ら調理する機会を設け、生き生きとした表情を引き出すことができた。嗜好調査においては提供温度が冷たいとの意見が約半数あり、委託業者と連携し改善を図った。

経口維持計画は入院や退所者も多く目標を下回ったが、昨年度より対象者を 増やすことができた。誤嚥性肺炎による入院は口腔ケアや食事介助方法、環境 整備で予防・改善が可能となることから多職種で協議する機会を次年度は更に 増やしていきたい。

#### ⑥ 総務管理係

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
経常経費の削減	前年度比 4.4%増	前年度比 5%削減	前年度比 0.14%減
ワークライフバラ ンスの充実	連続休暇取得の推 進	連続休暇取得の推 進	連続年休取得 4.7%増
7 - 7 - 7			防災訓練3回/年
防災訓練・B C P の 充実	防災訓練   3 回/年実施	年3回の実施 BCPの整備	実施   災害 BCP の整備

財務管理においては経常経費削減に努め健全な財務運営を行った。施設設備の定期的な保守点検実施、早めに修繕を実施するなど設備の長寿命化につなげた。

また県や民間団体に応募した複数の補助金が採択され、自動ドア修繕、見守りセンサー付ベッド整備や特殊浴槽入替が完了した。このことにより利用者の安全確保や介護職員等の腰痛予防に大きな効果が出ている。

そのほか危機管理においては自然災害発生時のBCP(事業継続計画)を策定し定期的な訓練実施を行なった。

### (2) ショートステイ

#### ▼運営状況

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 85.0%】	78.2%	83.8%	+5.6%
一日平均利用者数	10.9人	11.7人	+0.8人
平均要介護度	2. 73	2. 76	+0.03
1人あたり平均利用日数/月	10.2 目	10.2 日	±0日
新規利用者数	34人	19 人	-15 人

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
利用実人数	32 名/月	38 名/月	35 名/月
レクリエーショ ン・アクティビティ 数 (開催回数)	1 回/週	2 回/週	1~2 回/週
満足度調査結果	満足 93.0%	満足 95.0%以上	満足 94.7%

新規利用者は目標に達しなかったが、継続利用されている方も多く、緊急時受入れや希望に応じた利用日数追加を柔軟に対応した結果、年間通した安定稼働を図ることができた。

利用中の作業的なレクリエーション(編物、写経など)や YouTube を活用し音楽に合わせ歌いながらの体操など、利用者の活動量の確保や意欲向上に努めた。

タブレット端末の活用により、利用中の様子を家族や担当ケアマネジャーへ 情報提供も可能となり、利用促進につなげることができた。

### (3) デイサービスセンター

#### ▼運営状況【Ⅰ型(一般型)】

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 83.0%】	77. 2%	82.5%	+5.3%
延べ利用者数	3,577 人	3,822 人	+245 人
平均要介護度	1. 99	1.84	-0.15
新規利用者数	19 人	24 人	+5 人

#### ▼運営状況【Ⅱ型(認知症対応型)】

	·		
項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 69.0%】	58.0%	63.1%	+5.1%
延べ利用者数	2,150人	2,339 人	+189 人
平均要介護度	2.73	3.05	+0.32
新規利用者数	12 人	11 人	-1人

#### ▼事業目標の実施状況

	- v · v -		
目標計画	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
利用実人数(I・II)	I 型 38 名/月 Ⅱ型 27 名/月	I 型 45 名/月 Ⅱ型 30 名/月	I 型 40 名/月 Ⅱ型 21 名/月
オレンジカフェに おける相談件数、利 用につながった件 数	_	2 件/月	2 件/月
外出行事の実施	コロナにより 中止	2 回/年	2回/年 (各6日間実施)
満足度調査結果	満足 94.2%	満足 95.0%以上	満足 96.0%

目標数値は下回ったものの、通院等によるキャンセルを別日に振替える、空き状況を家族にカレンダー様式で配布する追加利用促進が定着し、前年度より稼働率を伸ばすことができた。

オレンジカフェ・介護相談会においては当施設の専門職複数名が講師となり、 地域住民に認知症予防講座を開催するなど情報発信に努め、前年度より家族からの相談件数も増え新規利用へつながるよう働きかけた。

今年度は川俣町が主体となった認知症ケア啓発イベント「※RUN件」が開催され、利用者が共同でパネル作成し、イベント会場を彩ることができた。

※RUN伴(ランとも)…今まで認知症の人と接点がなかった地域住民と、認知症の人や家族、 医療福祉関係者が一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベント

## Ⅲ 事業報告の附属明細書

# 令和5年度市町村別・月別利用状況

# (1) あつかし荘

# 特養

市町	丁村別	福島	島市		,	伊達市	•		*	1	111	7		月内0	)異動
		福島	旧 飯 野	旧伊達	旧梁川	旧保原	温霊山	旧 月 舘	桑折町	国見町	川 俣 町	その他	計	入一	退
月別		市	町	町	町	町	町	町						所	所
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
令和5年	4月	4	0	2	7	6	0	0	21	19	0	1	60	3	1
	5月	4	0	2	7	7	0	1	21	19	0	1	62	0	0
	6月	4	0	2	7	7	0	1	21	19	0	1	62	2	3
	7月	4	0	2	7	6	1	1	20	19	0	1	61	1	2
	8月	4	0	2	7	5	1	1	20	19	0	1	60	3	2
	9月	3	0	2	7	5	1	1	20	20	0	1	60	3	3
	10月	3	0	1	7	5	1	1	21	20	0	1	60	3	4
	11月	3	0	1	5	5	1	1	23	20	0	1	60	2	2
	12月	3	0	1	5	5	1	1	22	20	0	1	59	2	0
令和6年	1月	3	0	1	5	5	1	1	23	21	0	1	61	1	1
	2月	3	0	1	6	5	1	1	23	20	0	1	61	0	0
	3月	3	0	1	6	5	1	1	23	20	0	1	61	0	1
合 計		41	0	18	76	66	9	11	258	236	0	12	727	20	19

※月初日の入所者数

# 短期入所生活介護

市	町村別	福島	島市		,	伊達市			7		111	77	合計	1 日	ベッ
月別		福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町	桑折町	国見町	川 俣 町	その他	延日数	平均人数	ド稼働率
		(日)	(目)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(人)	(%)
令和5年	4月	0	0	0	8	0	0	0	101	156	0	0	265	8.8	88.3
	5月	0	0	0	7	0	0	0	100	173	0	0	280	9.0	90.3
	6月	0	0	0	6	0	0	0	87	144	0	0	237	7.9	79.0
	7月	0	0	0	3	0	0	0	108	143	0	0	254	8.2	81.9
	8月	0	0	0	9	0	0	0	121	139	0	0	269	8.7	86.8
	9月	0	0	0	7	0	0	0	98	151	0	0	256	8.5	85.3
	10月	0	0	2	8	0	0	0	79	162	0	0	251	8.1	81.0
	11月	0	0	0	6	0	0	0	43	158	0	0	207	6.9	69.0
	12月	0	0	2	6	0	0	0	54	164	0	0	226	7.3	72.9
令和6年	1月	0	0	3	6	0	0	0	57	172	0	0	238	7.7	76.8
	2月	0	0	2	6	0	0	0	58	144	0	0	210	7.2	75.0
	3月	0	0	2	8	1	0	0	60	153	0	0	224	7.2	72.3
合 氰	H	0	0	11	80	1	0	0	966	1859	0	0	2917	8.0	80.2

## Ⅲ 事業報告の附属明細書

# 令和5年度市町村別・月別利用状況

# (2)梁川ホーム

# 特養

市町	村別	福島	島市		,	伊達市			-	П	111	77		月内0	)異動
月別		福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	田霊山町	旧月舘町	桑折町	国見町	川 俣 町	その他	計	入所	退所
月 加		( 1 )	·	Ţ	Ţ	(人)	•	•	( 1 )	( 1 )	( 1 )	(1)	( 1 )	( 1 )	( 1 )
   令和5年	4月	(人)	(人)	(人) 4	(人) 35	22	(人) 7	(人) 2	(人)	(人) 2	(人)	(人)	(人) 78	(人)	(人) 3
77/11/04	5月	1	0	4	38	20	7	2	4	2	0	1	79		3
	6月	1	0	4	35	21	8	2	4	3	0	1	79		3
	7月	1	0	5	36	20	8	2	4	2	0	1	79		4
	8月	1	0	6	34	21	6	2	5	3	0	1	79		1
	9月	1	0	5	35	23	6	2	5	3	0	1	81	0	3
-	10月	1	0	5	33	22	6	2	5	3	0	0	77	3	3
-	11月	1	0	4	32	23	6	2	5	3	1	0	77	4	3
-	12月	1	0	4	32	22	6	2	5	5	1	0	78	3	2
令和6年	1月	1	0	4	31	23	7	2	5	5	1	0	79	1	0
	2月	1	0	4	31	23	8	2	5	5	1	0	80	0	1
	3月	1	0	4	30	23	8	2	5	5	1	0	79	1	0
合 計		12	0	53	402	263	83	24	56	41	5	6	945	28	26

※月初日の入所者数

# 短期入所生活介護

市町	「村別	福島	島市		1	伊達市			*		111	7	合計	1 日	ベッ
月別		福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町	桑折町	国 見 町	川 俣 町	その他	延 日 数	平均人数	ド稼働率
		(日)	(日)	(目)	(日)	(日)	(日)	(日)	(目)	(日)	(日)	(目)	(目)	(人)	(%)
令和5年	4月	0	0	0	279	35	61	0	0	63	0	0	438	14.6	73.0
	5月	0	0	0	306	59	65	0	0	67	0	0	497	16.0	80.2
	6月	0	0	0	318	46	65	0	0	84	0	0	513	17.1	85.5
	7月	0	0	0	335	47	74	0	0	73	0	0	529	17.1	85.3
	8月	0	0	0	341	47	81	0	6	75	0	0	550	17.7	88.7
	9月	0	0	0	319	52	74	0	5	71	0	0	521	17.4	86.8
	10月	0	0	0	287	53	78	0	6	73	0	0	497	16.0	80.2
	11月	0	0	0	274	61	50	0	0	74	0	0	459	15.3	76.5
	12月	0	0	0	203	49	44	0	0	39	0	0	335	10.8	54.0
令和6年	1月	0	0	0	255	69	56	0	0	53	0	0	433	14.0	69.8
	2月	0	0	0	204	64	55	0	0	45	0	0	368	12.7	63.4
	3月	0	0	0	255	68	57	0	0	70	0	0	450	14.5	72.6
合 計		0	0	0	3376	650	760	0	17	787	0	0	5590	15.3	76.3

## Ⅲ 事業報告の附属明細書

# 令和5年度市町村別・月別利用状況

# (3)川俣ホーム

# 特養

市町	丁村別	福島	島市	伊達市							111	7		月内0	の異動
		福島	旧 飯 野	旧 伊 達	旧梁川	旧保原	温霊山	旧 月 舘	桑折町	国 見 町	川 俣 町	その他	計	入	退
月別		市	町	町	町	町	町	町						所	所
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
令和5年	4月	2	3	0	2	3	4	4	1	0	45	2	66	1	2
	5月	2	3	0	1	3	4	4	1	0	45	2	65	2	1
	6月	2	4	0	1	3	4	4	1	0	45	2	66	0	0
	7月	2	4	0	1	3	4	4	1	0	45	2	66	1	1
	8月	2	4	0	1	3	4	4	1	0	45	2	66	0	0
	9月	2	4	0	1	3	4	4	1	0	45	2	66	2	2
	10月	2	4	0	1	3	4	4	1	0	45	2	66	2	2
	11月	2	4	0	1	3	4	4	1	0	44	3	66	3	3
	12月	2	3	0	1	3	4	4	1	0	45	3	66	0	0
令和6年	1月	2	3	0	1	3	4	4	1	0	45	3	66	1	2
	2月	2	3	0	1	3	4	4	1	0	44	3	65	1	1
	3月	2	3	0	1	3	5	4	1	0	43	3	65	1	0
合 計	•	24	42	0	13	36	49	48	12	0	536	29	789	14	14

※月初日の入所者数

# 短期入所生活介護

市町村	別	福島	島市		1	伊達市			*		111	7	合計	1 日	ベッ
月別		福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町	桑折町	国 見 町	川俣町	その他	延日数	平均人数	ド稼働率
		(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(人)	(%)
令和5年 4	4月	0	7	0	0	0	2	5	0	0	298	0	312	10.4	74.3
5	5月	0	8	0	0	0	2	6	0	0	344	0	360	11.6	82.9
6	6月	0	7	0	0	0	2	11	0	0	322	0	342	11.4	81.4
7	7月	0	31	0	0	0	0	8	0	0	365	0	404	13.0	93.1
8	8月	0	38	0	0	0	0	5	0	0	383	0	426	13.7	98.2
(	9月	0	33	0	0	0	0	20	0	0	314	0	367	12.2	87.4
10	0月	0	32	0	0	0	0	10	0	0	305	0	347	11.2	80.0
11	1月	0	24	0	0	0	0	10	0	0	307	0	341	11.4	81.2
12	2月	0	41	0	0	0	0	15	0	0	292	0	348	11.2	80.2
令和6年	1月	0	36	0	0	0	0	14	0	0	265	0	315	10.2	72.6
6 2	2月	0	33	0	0	0	0	19	0	0	300	0	352	12.1	86.7
3	3月	0	44	0	0	0	0	9	0	0	325	0	378	12.2	87.1
合 計		0	334	0	0	0	6	132	0	0	3820	0	4292	11.8	83.8